

### 3 研究のまとめ

#### (1) 成果

- 本研究委員会において、学習指導要領をはじめ様々な文献調査を基に、求められている三つの資質・能力について明らかにすることができました。
- 授業の質的改善を図るための目安として、研究委員の先生方とともに教師の指導の実態を振り返る【「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりのチェックリスト】と【「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表】の試案を作成することができました。また、6月から11月にかけての日々の授業実践を意識調査で分析した生徒の実態を踏まえ、【「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりのチェックリスト】と【「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表】を照らし合わせながら、授業の質的改善につなげることができました。

#### (2) 課題

- 日々の授業を、「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的改善を図っていったことで、生徒の資質・能力の育成につながったと考えます。ただ、これで終わりではなく、单元ごとに生徒の実態を捉え直しながら継続して取り組んで行くことが大事だと考えます。
- 【「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりのチェックリスト】と【「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表】については、2つの関連付けが課題であり、それぞれの表の項目についても、様々な生徒の実態や教師の指導方法を想定しながら検討したり増やしたりする必要があります。